

ハーセプチン+パクリタキセル療法を受けられる患者様へ

ハーセプチン+パクリタキセル療法について

トラスツズマブ（商品名;ハーセプチン）とは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。パクリタキセルとは、細胞分裂に重要な役割を果たす微小管の働きを抑えて、がん細胞の増殖を抑える抗がん剤です。

投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目、8日目、15日目に2種類の薬を投与します。21日間を一区切り(1コース)とします。



1コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

トラスツズマブ

(mg)

初回は90分、2回目以降は30分かけて投与します。

デキサメタゾン
クロルフェニラミン
ファモチジン

吐き気とアレルギーを予防します。30分かけて投与します。

パクリタキセル

(mg)

抗がん剤です。60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。5分かけて投与します。

パクリタキセルはアルコール（ビールでコップ1杯程度）を含んでいますので、お酒を飲んだ時のような症状（顔がほてる、眠気等）が現れることがあります。点滴をする日に車で来院することは控えてください。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
筋肉痛・関節痛

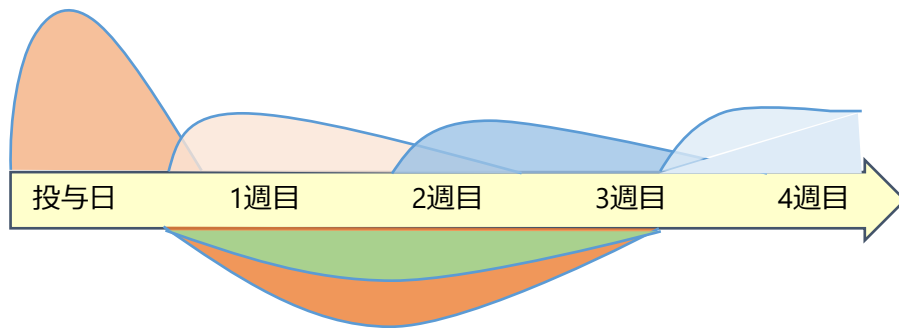
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。痛みがひどい場合、痛み止めを使うことができます。遠慮せずに申し出てください。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化
末梢神経障害

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。
手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかりと行いましょう。
38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。